



外観

「過去と現在にふれる駅」

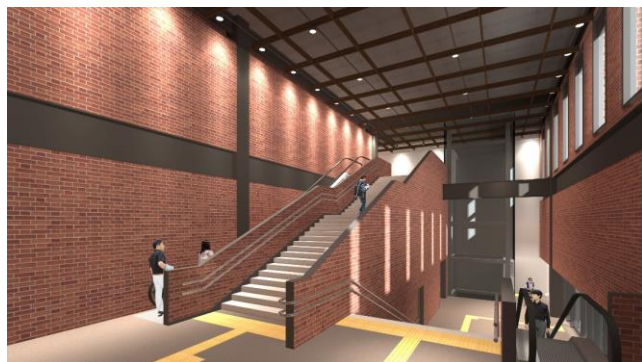
沢山の出会い・思い出・旅立ちの場となってきた駅について、花巻の歴史や文化を感じさせるレトロな雰囲気とした。

外観：重厚感あるシンプルな形態に、大正時代を思わせるレンガ調の壁によりレトロな雰囲気を演出した。

内観：レンガ調の壁と暖色系の内装により温かみのある空間を演出した。自由通路には獅子踊りの帯を思わせるステンドグラスを配置した。

◆デザインキーワード

- ・ レトロ大正時代・花巻市街の雰囲気
- ・ シンプルな内外装（白茶）
- ・ レトロなしつらえの内装
- ・ 落ち着いた暖色の照明
- ・ ステンドグラス
- ・ 景色（や電車）を楽しむ様々な窓
- ・ 木材利用



内観（エントランス）



内観（自由通路・エントランス付近）



内観（自由通路・改札付近）



レトロ retro

※パースはイメージのため詳細は変更となる可能性があります。

※3：小樽観光協会ホームページより引用



外観

「人とひとを結ぶ駅」

外観は花巻を代表する宮沢賢治が交流の拠点としていた私塾「羅須地人協会」をモチーフに、内観はナチュラルにまとめ住民の方々に愛されるようなデザインとした。

外観：羅須地人協会の屋根の傾斜の要素を取り入れつつ、花巻の風景に馴染むよう大地と空をつなぐ一つの勾配屋根をメインとした。

内観：本棚や木壁を中心とし、木のぬくもり溢れる自然な空間とした。またハイサイドライトと柔らかい膜天井により、自然光を取り入れる計画とした。

◆デザインキーワード

- ・宮沢賢治の要素
- ・シンプルな内外装（黒）
- ・木のぬくもり、木材の利用
- ・落ち着いたある暖色の照明
- ・温かみのある自然光の採光
- ・景色（や電車）を楽しむ様々な窓



内観（エントランス）



内観（自由通路・エントランス付近）



内観（自由通路・改札付近）





外観

「未来へと歩む駅」

学生が多く利用する駅ということやメジャーリーグで活躍する選手などを輩出した土地ということから、若者が未来へ歩んでいくことをイメージして近代的でスタイリッシュなデザインとした。建物全体に連なる窓が、思いをつないでいくことを表現している。

外観：駅広場のモニュメント「風の鳴る林」との調和を考慮しスタイリッシュにまとめた。窓から映る人々の影が宮沢賢治のシルエットを彷彿させる。

内観：内装仕上げは木材を取りれつつシンプルにまとめた。連続する窓により自然光を取り入れるとともに、様々な景色を楽しめるように計画した。

◆デザインキーワード

- ・スタイリッシュな空間
- ・シンプルな外装
- ・宮沢賢治のシルエット
- ・木のぬくもり、木材の利用
- ・温かみのある自然光の採光
- ・景色（や電車）を楽しむ様々な窓



※2



内観（エントランス）



内観（自由通路・エントランス付近）



内観（自由通路・改札付近）